

令和三年度香川県藤井高等学校卒業証書授与式 校長式辞

春の柔らかな陽光が育む生き物たちの新たな息吹が、鬱蒼とした私たちの心に日常を取り戻す希望を抱かしてくれる今日の佳き日、令和三年度香川県藤井高等学校卒業証書授与式を厳かに挙行できますことを、たいへんうれしく思います。新型コロナウイルス感染症が依然収束しない中、式の挙行にご理解、ご尽力、そしてご参集くださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

先ほど呼名を受けた一四二名の卒業生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。今、壇上の私と自らの未来をまっすぐに見つめている皆さんのまなざしは、幾分あどけなさを残しながら入学式に臨んだ三年前よりもさらに力強く感じられます。それは、藤井高校での三年間で、喜びも悲しみも、成功も苦労も重ねながら、充実した日々を送ったことの証左でありましょう。

新型コロナウイルス感染症は、皆さんの学校生活から自由を奪いました。登校できない日々が続き、学校行事が悉く中止になり、課外活動も制限されてしまいました。人生の最も多感な時期を生きた皆さんに、感性を豊かにする機会を例年のように提供できなかったことは、痛恨の極みです。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、私たちの社会には様々な変化や出来事が起こりました。例えば、遠隔授業やテレワークなどデジタル化が進んだことで、コンピュータスキルを武器にして起業する若者が、産業界やメディアを賑わしています。プログラミングにより便利なアプリを開発したり、AI を駆使してビッグデータを分析したりすることで、社会全体の発展と幸福のために、新たなことを次々と実現しています。

昨年末、JAXA が十三年ぶりに宇宙飛行士を募集したことが話題となりました。JAXA が求める人物像は、ミッションを成功させるために協調性とリーダーシップを発揮できる者、適応能力や思考の柔軟性を備えた者、世界中の人々と経験や成果を共有できる表現力と発信力をもつ者、人類の持続的な発展に貢献できる者とあります。宇宙飛行士になるためには、単に学力が高い、あるいは宇宙に興味がある、というだけではもう通用せず、様々な能力を十分に磨く必要があります。

メジャーリーグで大谷翔平選手が MVP に選ばれました。投手として一六〇キロのボールを投げたかと思えば、打者としてホームランを量産するという、これまで誰もできなかったことを実現しました。皆さんは、大谷選手の活躍から、一つの分野だけでなく複

数の分野で同時に高みを目指せるのだというメッセージを受け取ったのではないでしょうか。また、昨年夏の東京オリンピックでは、スケートボードの西谷柊選手が日本人史上最年少の金メダリストになりました。皆さんは、夢は若くして叶えられるという勇気を彼女からもらえたはずです。一方で、北京オリンピックでは、メダルを期待されながら不運もあってメダルを獲得できなかった、高梨沙羅選手や羽生結弦選手のような選手もいました。「これ以上ないくらい頑張ったと思います。報われない努力だったかもしれないですけど」というコメントを聞いたとき、みなさんは選手たちに対して、報われない努力はするべきではないと言いたかったですか。それとも、報われようが報われまいが、努力すること自体に価値があると言いたかったですか。

今、私が皆さんにお伝えしたいのは、新型コロナウイルスが変化をもたらした社会の中で真に活躍できるのは、私たちの世代ではなくて皆さんの世代だということです。なぜなら、私たちの世代は、皆さんが受けてきたような現代的な教育を受けていないからです。生まれたときからデジタルに親しみ、社会の持続的な発展に強い関心を持ち、誰も為しえなかったことに挑戦し、それを実現できることを目の当たりにした皆さんだからこそ、藤井高校で培ったその豊かな個性と能力で新しい道を切り拓いていけると、私は確信しています。

保護者の皆様、お子様を三年間お預かりし、教職員一同、精一杯見守ってまいりました。大人への過渡期を迎えて心身ともに不安定な日々を過ごすお子様を見て、心配なことも多々あったかと存じます。しかし本日、このように立派に成長して巣立とうとするお子様の姿を、私たちは見ることができました。これもひとえに、藤井高校の教育活動へのご理解とご協力の賜物であると、感謝に堪えません。あらためて、皆様にお礼を申し上げますとともに、これからも、地域や社会の中で成長し、活躍するお子様を支援してまいりますようお願い申し上げます。

卒業生の皆さん、耐え忍ぶ時間はやがて終わり、皆さんが時代を創っていくべきときがやってくるはずです。新型コロナウイルス感染症という試練の中で大事に育んできた翼を伸びやかに広げ、茫洋たる世界を飛び回ってください。皆さんの洋々たる未来を心からお祈りして、式辞といたします。

令和四年三月二日

香川県藤井高等学校 校長 矢葺久富